

# エゾヤチネズミ

*Clethrionomys rufocanus bedfordiae*

ネズミ科



エゾヤチネズミ

## 名前の由来

北海道(エゾ)に生息するヤチネズミの意。ヤチは谷地で湿地の意。ネズミは暗い所に居るので「根棲み」、あるいは「穴棲み」から、「寝盗」からなど。漢字名：蝦夷谷地鼠

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(草原・樹林)  
ワシ・タカ

## 形態的特徴

尾が短く、尾にほとんど毛がない。頭胴長(鼻先から尻尾の付け根まで)110~126mm、尾長44~56mm、後足長(後足の指先から踵まで)19.0~20.6mm。背面は暗褐色で、腹面は象牙色をおびた白色か汚白色。

類似種：ミカドネズミ。

ミカドネズミは背中の色が赤錆色で尻尾は毛に覆われる。



エゾヤチネズミ



エゾヤチネズミの足跡と尻尾(円内)

## 生息環境・分布

草地や林地など、様々な場所に生息している。

分布：エゾヤチネズミはタイリクヤチネズミの亜種<sup>※</sup>。国外ではタイリクヤチネズミがシベリアから沿海州、中国東北部、朝鮮半島北部に広く分布している。国内では、北海道

に分布。北海道内では、全域に分布。

十勝地方では、低地~高地の樹林や草地に普通にみられる。

※ 亜種：同じ種が地理的に隔離され、独自の分化をとげ、形態的に違いがあるもの

## 食性・他生物との関わり

草食性 冬に樹皮や種子、夏には漿果。動物質のものも少し食べる。天敵は多く、イタチ類、キタキツネ、テン、タカ・フクロウ類など。

## 繁殖生態・寿命

北海道中南部では春と秋、北東部や山岳地では主に夏に繁殖し、妊娠期間は18~19日、一度に1~11子を産む。寿命は飼育下では約2年。

## 興味深い話

- エゾヤチネズミはタイリクヤチネズミの亜種。タイリクヤチネズミはシベリアから沿海州、中国東北部、朝鮮半島北部に広く分布している。
- 植林した苗木の樹皮などを食べて枯らすことから林業の

害獣とされる。

■エキノコックスの中間宿主でもあるという。

■十勝地方のアイヌ語ではネズミ類一般を「エルムン」と呼ぶ。

## 配慮事項

様々な環境に生息しているが、下生えが必要。

## 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出現期	[Green bar indicating presence from January to December]											
繁殖期	[Red bar indicating reproduction from March to October]											

## 参考文献

「日本の哺乳類」阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 東海大学出版会 1994  
「日本動物大百科1 哺乳類I」日高敏隆 監修 平凡社 1996  
「北海道 森と海の動物たち」エコ・ネットワーク編 北海道新

聞社 1997

「アイヌ語で自然かんさつ図鑑」帯広百年記念館編集、内田祐一・池田亨嘉、帯広百年記念館友の会 2004